

展示「本のまくら」ブックリスト

展示期間：平成30年1月23日（火）～2月13日（火）

展示場所：さいたま市立武蔵浦和図書館 2階 一般書展示コーナー

	まくら（書き出し文）	請求記号	書名	著者名	出版社	出版年	資料番号
1	大学は、学生がこれからの人生で直面するであろう試練を乗り越える“すべ”を身につけるための道場であると言えます。	141.5	東大物理学者が教える「考える力」の鍛え方	上田正仁	ブックマン社	2013	29100531465
2	「一生懸命仕事をやっているのに、結果が出ない」	159	「できない自分」から抜け出す32の方法	道幸武久	中経出版	2011	29190158781
3	人生に何を期待できるかではなく、人生から自分が何を期待されているかを考える。	159	いのちの使いかた	日野原重明	小学館	2012	29100383438
4	昨今の日本は、政治・経済・社会のすべてがおかしくなっています。	180.4	「がんばらない」お稽古	ひろさちや	PHP研究所	2013	29100517373
5	このごろになって、私の日常もようやく「ひとり暮らし」といってもいいような季節に入った。	182.88	「ひとり」の哲学	山折哲雄	新潮社	2016	29800007808
6	私は、縁あって、自死（自殺）という“いのち”の問題にかかわるようになりました。	188.74	いのちの問答	藤澤克己	幻冬舎	2011	29100202273
7	私は一九八七年の二十二年前になりますが、母校の小学校で初めて「いのちの授業」を行って以来、全国の小学校を百校余りも訪れ、いのちの大切さを伝え続けてきました。	193.04	子どもを育てる聖書のことば	日野原重明	いのちのことば社フォレストブックス	2009	29100313906
8	理科雄は本名である。	404	なぜ僕は理科を好きになったのだろう？	柳田理科雄	集英社インターナショナル	2006	29190063734
9	野蛮人は、シンプルで力強い生活技術を持っている。	407	益川博士のつぶやきカフェ	益川敏英	三省堂	2010	29100007656
10	月のかたちで何日かがわかったころ「今日は満月だから十五日だ…」。	449.34	美しい暦のことば	山下景子	インデックス・コミュニケーション	2006	29190110592
11	商店街の二階の窓辺に置かれた木箱のなかで、アネモネのつぼみがかこりと土をもちあげ、顔を出した。	470.4	花みちくさ	西岡直樹	平凡社	2012	29100178440
12	毎日、目にしているものや、身近なところにあるものはいつからか不思議と意識のわくからはずれてしまうものです。	470.4	道ばたに咲く	かわしまよう子	地球丸	2011	29190089192

	まくら(書き出し文)	請求記号	書名	著者名	出版社	出版年	資料番号
13	佐野藤右衛門さんとは、先代からのおつきあいである。	479.75	桜よ	佐野藤右衛門	集英社	2001	29100356053
14	宇宙には生物界と無生物界とがある。	481.78	イラスト図説「あつ!」と驚く動物の子育て	長澤信城	講談社	2006	29190101005
15	蜜は甘い。	486.04	奥本昆虫記	奥本大三郎	教育評論社	2015	29101013380
16	子どもの頃は都心の日本橋馬喰町に住んでいたから、まわりには自然らしいものは少なかった。	488.21	鳥あそび	小宮輝之	二見書房	2011	29190092212
17	100%健康だと言い切れる人はいません。	490.4	なんだかんだの病氣自慢	マガジンハウス	マガジンハウス	2011	29100069730
18	私は生きやすさとは何かを知りたかった。	493.79	その島のひとたちは、ひとの話をきかない	森川すいめい	青土社	2016	29100417996
19	理至先生は、わたしが考える理想的なアーユルヴェーダのお医者さんです。	498.3	病氣にならない「こころ」と「からだ」の作り方	蓮村誠	PHP研究所	2011	29190148790
20	日常というのは、実に多くの出来事に満ちています。	498.39	どうでもいいことで悩まない技術	柿木隆介	文響社	2015	29100578144
21	この本を手にとってくださったあなたは、いま、なにかのストレスやプレッシャー、ショッキングな出来事と向き合っているのかもしれませんが。	498.39	折れない心をつくるシンプルな習慣	渡部卓	日本経済新聞出版社	2011	29100044782
22	人生の道行きに一つの区切りをつけるため、何かまとまったことをと考えていたのは、まさに春爛漫というほどのぽかぽか陽気になっていたある日のことでした。	520.4	風になって	阿佐見昭彦	海苑社	2013	29150003308
23	私がお城に興味を持ち、目的としてお城に行くようになったのは今から12年前のことでした。	521.82	こんな城もあったんだ	本岡勇一	TOブックス	2010	29100270171
24	私は大阪の下町に生まれ育ち、高等学校を卒業して建築の仕事始めたわけですが、建築についての専門教育を、じつはほとんど受けていません。	523.1	歩きながら考えよう	安藤忠雄	PHP研究所	2010	29190040096
25	初めての著書を書くにあたって、言葉のかたまりを本にするにはさまざまな段階が必要なことを知り、驚きと若干のとまどいを感じた。	589.73	最高に楽しい文房具の歴史雑学	ジェームズ・ウオード	エクスナレッジ	2015	29100423069

	まくら(書き出し文)	請求記号	書名	著者名	出版社	出版年	資料番号
26	人生とはシンプルなものだー。	589.73	利他のすすめ	大山泰弘	WAVE出版	2011	29190225945
27	家族と、友達と、恋人と楽しく語らいながらの食事は人生の幸福なひとときでしょう。	596.04	ひとり外食術	ひとり外食 力向上委員 会	日経BP社	2015	29100424984
28	美沙ちゃんは間もなく結婚するんだって？	596.04	グルメの教養	小町文雄	アーバン プロ出版セ ンター	2016	29100587889
29	戦争が終わった昭和20年。	627	江尻光一のしくじり 園芸日記	江尻光一	主婦の友社	2010	29100279602
30	花ことばのことを調べているうちに、何か人間すべてに共通する言語があるのではと思われることがある。	627	花ことば	樋口康夫	八坂書房	2016	29100422210
31	世間のひとたちはつい最近まで、女性の画家や彫刻家のことをこんなふうに捉えていた。	720.28	絵筆をとったレディ	アメリカ・ア レナス	淡交社	2008	29190208321
32	子どもの頃から絵が下手であった。	723.3	大橋巨泉の美術超 シロウト的鑑賞ノー ト	大橋巨泉	ダイヤモンド 社	2008	29190089333
33	日本語をたいせつにしつつ、ものを創る仕事がしたい。	810.4	話しことばの花束	好本恵	リヨン社	2007	29100097947
34	人間は生まれる国を選べません。	910.26	人生の並木道	小嶋宏	文芸社	2007	29190153915
35	夏目漱石は畏るべき“手紙魔”であった。	910.268	漱石先生の手紙が 教えてくれたこと	小山慶太	岩波書店	2017	29190297191
36	小さい時分のことだった、十歳か十一の頃だったろう。	914.6	曲り角のその先に	村岡花子	河出書房新 社	2014	29100540912
37	目に見えないことについて語る。	914.6	宮本亜門のバタア シ人生	宮本亜門ほ か	世界文化社	2008	29100197143
38	僕には絵心というものがまったくありません。	914.6	プロムナード	道尾秀介	ポプラ社	2010	29100004471
39	日本史上はもとより人類史上、今ほど大勢の人々が日記を書いている時代はなかったと思われます。	914.6	怒りは正しく晴らす と疲れるけれど	日垣隆	ワック	2009	29190118066

	まくら(書き出し文)	請求記号	書名	著者名	出版社	出版年	資料番号
40	松本清張氏の短篇に、毎晩ひどい いびきをかいて仲間を眠らせないので、 とうとう殺されてしまう男の話がある。	914.6	おふくろの夜回り	三浦哲郎	文藝春秋	2010	29190003573
41	わが理想とするところの自作の庭とは、 なにも四季を通じての花いっぱい の空間のことなどではなく、満天 の星のごとき輝ける万朶の一瞬を 年に数日間ほどかいま見せてくれ ればそれで充分という、どこまでも 私的な小宇宙のことにほかならない。	914.6	さもなければ夕焼け がこんなに美しいはずはない	丸山健二	求龍堂	2011	29190173939
42	エッセイを書くことになった。	914.6	ザ・万歩計	万城目学	産業編集センター	2008	29100121663
43	「フォーラム21」という、さまざまな 企業や官庁の優秀な若手の人びと が集まる会がある。	914.6	福縁伝授	福原義春	集英社	2011	29190194109
44	この本を手にとっておられるあなたは、 いま何歳でしょうか。	914.6	ぶれない	平山郁夫	三笠書房	2008	29190118942
45	京都に住んでからもう二十年を超えるが、 今でもよく旅に出る。	914.6	にっぽん巡礼	山折哲雄	創元社	2010	29190173954
46	暖冬が言われ始めて、すでに久しい。	914.6	東京江戸歩き	山本一力	潮出版社	2007	29100189058
47	一世紀近く生きてきて、天変地異を ふくめた大抵のことは経験してきた つもりですが、まだ足を踏み入れて いない世界がありました。	914.6	人はいくつになっても 生きようがある。	吉沢久子	さくら舎	2016	29100415792
48	毎朝、新聞を広げると目に飛び込んでくるのは、 目を覆いたくなるような 事件ばかりです。	914.6	みんなで探した ちょっといい話	志賀内泰弘	かんき出版	2009	29100283836
49	自分と悪口というものの因果関係を 思うとき、すぐに浮かんでくるのは、 もはや二十一年も前のことになる が、ある新聞社から依頼された連載 小説についての記憶である。	914.6	悪口のすゝめ	村松友視	日本経済新聞出版社	2012	29190248871
50	インターネットを介して飼い主を探している 犬たちがいる。	914.6	君と一緒に生きよう	森絵都	毎日新聞社	2009	29100036515
51	私はどうも死ぬ気がしない。	914.6	私はどうも死ぬ気が しない	金子兜太	幻冬舎	2014	29100402337

	まくら(書き出し文)	請求記号	書名	著者名	出版社	出版年	資料番号
52	この本の題名を最初は『われら63歳 夕焼けを生きる』しようと思った。	914.6	朝焼けを生きる	落合恵子、佐高信	七つ森書館	2008	29190092816
53	中学三年生のとき登った日本アルプスでの感動が、私の青春を決定した。	914.6	旅に生きて八十八年	岡田喜秋	河出書房新社	2014	29190263243
54	生きづらい世の中になったなと思う。	914.6	がんばらない生き方	池田清彦	中経出版	2009	29190079946
55	いつか漫才をテレビで観ていて、思わず笑ったことがありました。	914.6	生かされる命をみつめて	五木寛之	東京書籍	2011	29100229391
56	人間は何のために生きているのか。	914.6	歓ぶこと悲しむこと	五木寛之	東京書籍	2011	29100229375
57	長い旅をしたい。	914.6	西の果てまで、シベリア鉄道で	大崎善生	中央公論新社	2012	29190232917
58	世界で、もっとも短い手紙はヴィクトル・ユーゴーが『レ・ミゼラブル』の出版元に送ったもの—とされています。	914.6	読まずにはいられない	北村薫	新潮社	2012	29100386738
59	テレビで「正しい食べ方」なるものを教えていた。	914.6	木皿食堂 2	木皿泉	双葉社	2015	29101013067
60	私は幼い頃から、縫いぐるみとかヒラヒラのレース飾りとかいった可愛いらしいものにソッポを向くカワイクナイ女の子だった。	914.6	聡明な女たちへ	桐島洋子	大和書房	2010	29100016814
61	僕は、高等学校時代、妙な読書法を実行していた。	914.6	読書について	小林秀雄	中央公論新社	2013	29100528974
62	『妙ちゃんが行く！本・ひとり旅・おいしい時間のお福分け』この本を手にとって、まあ、なんと元気のいい、愉しそうな本でしょう、と思ったあなたに、この本についての幕開き前の口上をお聞かせしましょう。	914.6	妙ちゃんが行く！	清川妙	すばる舎	2010	29190204411
63	米倉涼子が豪速球を巧みにバントする金貸し会社のCMがある。	914.6	全力でスローボールを投げる	北尾トロ	文藝春秋	2010	29150039062
64	生きていればそのときどきに様々な分野の現場に身を置くことになるけれど、これまでの人生を振り返って「ああ、あのころは冴えまくりであったなあ」と遠い目をしながらよくわからない感慨にふける、ということはありませんか。	914.6	夏の入り口、模様の出口	川上未映子	新潮社	2010	29100009132

	まくら(書き出し文)	請求記号	書名	著者名	出版社	出版年	資料番号
65	「子供がつくる“弁当の日”を実施します」すべてはその言葉からはじまった。	914.6	空気は読まない	鎌田 實	集英社	2010	29190087766
66	二胡の起源は一千年前にも遡る。	914.6	不惑の手習い	島田雅彦	集英社	2008	29100182970
67	「イスキア」の活動は、弘前の自宅で始まりました。	914.6	あなたに喜んでもらえるように	佐藤初女	海竜社	2010	29190167857
68	人それぞれ人のつながりがありますが、私の場合は勤務していた公共図書館を介していろいろな人と知り合うことができました。	914.6	しあわせは少しだけあればいい	ちよはらま ちこ	新読書社	2010	29100294049
69	木犀が甘く香る夜旧友の侘住をたずねた。	914.6	江戸へおかえりなさいませ	杉浦日向子	河出書房新社	2016	29100594380
70	作家連中のなかには、ワシを知らんのか、とプイと横をむく御仁もおられるようだが、わたしはそれほど図々しい神経の持ち主でもない。	914.6	俺ひとり	白川道	幻冬舎	2009	29100289171
71	二〇〇五年に『凍りのくじら』という家族をテーマにした小説を書いた時、主人公に『ドラえもん』と藤子・F・不二雄氏への愛情について語らせた。	914.6	ネオカル日和	辻村深月	毎日新聞社	2011	29190218437
72	本書はユーモアエッセイではない。	914.6	幸・不幸の分かれ道	土屋賢二	東京書籍	2011	29190096544
73	三〇年ぶりで、母校を訪ねた。	914.6	聖なる母と透明な僕	田口ラン ディ	青土社	2008	29100120962
74	幼い時の体験が、その後のその人の人格形成にどのような大きな影響を与えるかは、まともに考えたら、恐ろしくて、子供にどのような体験をさせたらいいかわからなくなるくらいのものであろう。	914.6	三秒の感謝	曾野綾子	海竜社	2010	29100183333
75	学校で一番偉い人といえば、やっぱり校長先生になる。	914.6	見えない誰かと	瀬尾まいこ	祥伝社	2006	29100344646
76	今年は春の訪れが遅く、私の住んでいる熱海でも、四月に入ってようやく桜が咲き始めました。	914.6	簡素が、いちばん！	橋田寿賀子	大和書房	2011	29100279792
77	大学を卒業してすぐ、いまの病院に勤め始め、そのままずっと居続けてもうすぐ三十年になる。	914.6	からだのままに	南木佳士	文藝春秋	2007	29100030740

	まくら(書き出し文)	請求記号	書名	著者名	出版社	出版年	資料番号
78	陶磁器には特別の思い入れはない。	914.6	人生、しょせん気晴らし	中島義道	文藝春秋	2009	29100306231
79	盗難よけに霊験あらたかな神社に命びろいをした人たちの奉納した絵馬がいっぱいかかっている。	914.6	朝採りの思考	外山滋比古	講談社	2010	29190185552
80	博覧強記のひとつである。	914.6	ぼくはこう生きている君はどうか	鶴見俊輔、重松清	潮出版社	2010	29190066042
81	結婚以来五年余り、池袋、練馬、狛江、幡ヶ谷、とアパートを転々とする暮しに疲れた私は、小さくてもいいから定住する家が欲しいと願い続けていた。	914.6	夫婦の散歩道	津村節子	河出書房新社	2012	29190248848
82	ごちそうといえば炭水化物だ。	914.68	こんがり、パン	赤瀬川原平ほか	河出書房新社	2016	29100594398
83	本書には、知的生産力を効率的に伸ばしてゆく方法が書かれています。	B002.7	知的ストレッチ入門(新潮文庫)	日垣隆	新潮社	2010	29100334878
84	この書物は、日本を代表する教育者にして、国際人である新渡戸稲造が、一九一二年(大正元)年、五〇歳のときに上梓した本である。	B159	世渡りの道(文春学藝ライブラリー)	新渡戸稲造	文藝春秋	2015	29100565828
85	人それぞれに座右の銘をもっている。	B159.6	座右の銘(ハルキ文庫)	森村誠一	角川春樹事務所	2011	29100048585
86	ウェブサイト上、あるいは口頭のものでも何でもよいのですが、誰かの自己紹介を思い浮かべてみましょう。	B184	沈黙入門(幻冬舎文庫)	小池龍之介	幻冬舎	2010	29100002152
87	突然ですが、あなたがイタリアに出かけたとしましょう。	B302	ところ変われば(日経ビジネス人文庫)	日本経済新聞社	日本経済新聞出版社	2010	29100060754
88	マキアヴェリは言う。	B311.23	「君主論」55の教え(知的行かた文庫)	ニッコロ・マキアヴェリ	三笠書房	2011	29100159507
89	二〇〇一年夏、「アップル」は巨大石油企業「エクソン・モービル」を追い抜いて株式時価総額で世界一の企業となり、業績は創業以来最高をたたき出した。	B335.13	スティーブ・ジョブズ 夢と命のメッセージ(知的生きかた文庫)	スティーブ・ジョブズ	三笠書房	2011	29100170637
90	「日本の伝統芸能」というと、「古くさい」「堅苦しい」といったイメージしかない方もいるでしょう。	B361.5	こんなに面白かった!「ニッポンの伝統芸能」(PHP文庫)	齋藤孝	PHP研究所	2011	29100058410

	まくら(書き出し文)	請求記号	書名	著者名	出版社	出版年	資料番号
91	本書はインタビュー集である。	B366.29	ふむふむ(新潮文庫)	三浦しをん	新潮社	2015	29100404994
92	きれいだな、なんて感じがいいんだろう、と思わせる人がいます。	B385.9	日々ごゆだんなきよう(角川文庫)	上田宗冨	角川書店	2011	29190223296
93	里菜ちゃんへ 今日タ立があるかもしれないという予報だったので、心配しましたが、雨に降られないでお家に帰れましたか？	B460.4	すべてのいのちが愛おしい(集英社文庫)	柳澤桂子	集英社	2007	29190181486
94	逆境の時代である。	B470.4	身近な雑草の愉快な生きかた(ちくま文庫)	稲垣栄洋	筑摩書房	2011	29190116128
95	不思議だ。	B498.04	あきらめない(集英社文庫)	鎌田實	集英社	2006	29190045202
96	大変なことが起こった。	B498.04	なげださない(集英社文庫)	鎌田實	集英社	2011	29100049641
97	出会いは偶然だった。	B783.7	夢・続投！(朝日文庫)	重松清＋マ スターズ甲 子園実行委 員会	朝日新聞出 版	2014	29100555985
98	この世の中にある職業といったら、それこそ数えきれない。	B788.1	チカラビトの国(文春文庫)	乃南アサ	文藝春秋	2010	29100001089
99	残業をしていたら、向かいの席のKくんが「佐藤さん、お腹すきませんか」と言って、何やら包みをぱりぱり開けた。	B902.09	恋する世界文学(集英社文庫)	佐藤真由美	集英社	2011	29190130194
100	どうやらこの本は、「犬と作家のものがたり」を集めているらしい。	B910.2	いつも一緒に(新潮文庫)	新潮文庫編 集部	新潮社	2013	29190251289
101	人生すべてなりゆきなんで、作家になりたいと思ったことはないんです。	B910.264	作家の履歴書(角川文庫)	阿川佐和子 ほか	KADOKAW A	2016	29100594463
102	こんなに長きにわたって向田邦子さんについて書くとは思ってもみなかった。	B912.7	向田邦子名作読本(中公文庫)	小林竜雄	中央公論新 社	2011	29190044650